

主な内容

- ふるさとの川を美しく
- 山口・小郡地域広域水道企業団
- 山口市の戦後50年④

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

●市民憲章 昭和46年9月1日制定

- 1 自然を大切にし、美しい環境を守りましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
- 1 きまりを尊び、良い風習を育てましょう。
- 1 郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。

やまぐち



西の京の微笑み 新ミス山口誕生！

素敵な笑顔につつまれた女性たちは、'95～'96ミス山口。7月8日、中市コミュニティセンターNacで、62人の中から選ばれました。これからの2年間、観光PRなどを行い、山口の魅力をアピールし、イメージアップをはかります。初めて皆さんにお目にかかるのは、山口七夕ちょうちんまつりの8月6日。ちょうちんの灯に囲まれて晴れやかにデビューです。（5人の紹介は9ページをご覧ください）

8/1  
1995年 No.1153

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。



市の木イチョウ



市の花キク



市の花木キンモクセイ





（社）全日本建設技術協会（山内一朗会長）が実施している「全建賞」に、山口県山口土木建築事務所が担当した「吉敷川小規模河川改修事業」が選ばれ、六月二十八日、表彰を受けられました。

全建賞は、建設事業の発達を促進するため、建設技術の発達に寄与した建設事業に贈られるもの。

吉敷川は、ゲンジボタルの生息地として天然記念物の指定を受けていま

### 吉敷川の改修事業が全建賞を受賞

清らかな水の流れと緑のある自然に恵まれた河川。それは、私たちのかけがえのない財産です。

私たちの手でふるさとの川をいつまでもきれいに守っていききたいものです。

今回は、吉敷川について、その改修事業が全建賞を受賞したこと、地区でさかんに行われている清掃活動を紹介します。



す。このため、河川改修にあたっては、ホタル保護を考慮した工法が採用されています。

ホタルの幼虫が成虫になる際に、水中からはい上がって土中に潜るとい性質があるので、護岸は、ホタルの幼虫のふ化場所となるように、大型ブロックを使用し、すきまには、植生土のうを詰めるという構造。

植生土のうから生えた草により陰ができるので、日陰を好むホタルの幼虫にとって適した環境が作り出されています。

## 自分たちの手で川をきれいに



この吉敷川を美しく保つために、積極的な活動をされているのが「吉敷地区ふるさとづくり推進協議会（松村昇会長）」。

吉敷地区では、地区の生活環境の美化をより積極的に推進するため、自治会の組織の一つとして、「吉敷地区ふるさとづくり推進協議会」を結成。

地区の中心を貫流する吉敷川の良城橋周辺を地区の顔と位置付け、地区民自らの力を結集して、河川公園の良好な維持管理に努めるとともに、吉敷川の清掃などについて積極的な活動を展開されています。

同協議会川の部会部会長の荒川雅孝さんに話を伺いました。



「自分たちがすむ『ふるさとの川』をきれいし、ホタルがすみやすい環境をつくるために、みんなで清掃活動を行っています。また、清掃を通じて、川にごみを捨てないよう、意識の高揚を図っています」と河川の環境を守ること

を活動目標にされています。

「子ども会による空き缶拾い、良城商工振興会主催のアイのつかみ取りなども行っています。自然に親しむことで、子どもたちにも川をきれいにしようと思ってもらえればいいですね」

「これからも、自分たちで川をきれいにしようという心がけを皆さんに持ち続けてほしいです」と力強く語られました。



のこよみ

- 1日 高校総体弓道 開会式（市民会館）
- 2日 高校総体弓道 個人競技予選・決勝（県弓道場）
- 3・4日 高校総体弓道 団体競技予選・決勝（県弓道場）
- 6日 山口七夕ちょうちんまつり（商店街・パークロード）／7日
- 10日 学童泳力テスト会（市民プール）
- 12日 周防大橋花火大会（周防大橋）
- 17日 夏休み絵画教室一年生、三・四年生（市児童文化センター）／18日
- 23日 市民無料法律相談（白石公民館）▽夏休み絵画教室二年生（市児童文化センター）／24日
- 24日 一歳六か月児健康診査（市保健センター）／25日
- 25日 親子で竹細工に親しむ会（市児童文化センター）
- 27日 ぶらっとフェスティバル（県赤十字血液センター）
- 30日 市長を囲む会（嘉川公民館）▽大林宣彦シネマコレクション（市民会館）
- ▽第五回山口市民大学講座 講師 大林宣彦（市民会館）



# 生活用水の確保と長期安定供給をめざして 山口・小郡地域広域水道企業団

一市三町の水道34.4%を供給しています

蛇口をひねれば、いつでも当たり前のように出てくる水（水道）。

水は、飲用・風呂・洗濯などの生活用水として、一日も欠くことのできないものです。

昨年の夏は、近年続いている異常気象によって、これまでにない湯水となり、他の都市では、水道の断水・減水によって多くの人たちが影響を受け、あらためて水の大切さを思い知らされた年でした。

「水は無尽蔵にある」という考えを一人一人が見直し、「限られた資源」とであると再認識したいものです。

ここでは、日ごろ皆さんになじみが薄い「山口・小郡地域広域水道企業団」について紹介します。

## 山口・小郡地域 広域水道企業団とは

山口・小郡地域の水源を確保するため、昭和五十四年四月、山口市・小郡町・秋穂町

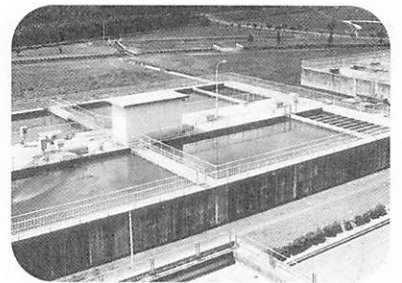
および阿知須町（以下、一市三町）を構成団体として設立されたのが「山口・小郡地域広域水道企業団」です。

同企業団は、山口県の樫野川総合開発計画にともなう荒谷ダムの建設に共同参加し、事業に着手しました。

そして、昭和六十二年に荒谷ダムが完成、河川水の取水が可能となりました。

現在、ダムによる河川水と朝田浄水場の地下水を水源として、山口市水道局、山口市・秋穂町水道企業団および阿知須町へ水道用水の供給を行っています。

なお、同企業団から小郡町への供給を開始するのは、現在の計画では平成十三年ごろを



朝田浄水場

予定しています。

## 水源について

水道には、河川の水や地下水が使われています。

河川の水は、海に流れ込み、蒸気となって雨や雪として地表に降りそそぎ、再び河川水となり、しみこんだ水は地下水となります。この間に、自然の浄化作用によって、水はきれいになっていきます。

このような自然のサイクルから生まれた水を、私たちは使用しています。

しかし、生活環境の変化や人口の増加にともない、使用水量は増え、自然のサイクルではまかないきれなくなってきました。

そこで、増加する水需要に対応するため、海に流れ出してしまう河川水を蓄えるダムが必要となったのです。

このため、同企業団でも、荒谷ダムから放流される樫野

川の河川水を主な水源としています。

## 広域水道企業団の水が使われている量は

平成六年度での一市三町の年間総配水量は二千八万立方メートル。このうち、広域水道企業団から送水している水量は六百九十一万立方メートルで、全体の三四・四%となっています。

また、年間総配水量のうち、河川水は約五百三十八万立方メートルで、全体の二六・八%を占めています。

今後、水需要の増加とともに、河川水への依存はますます高まっていくものと予想されます。

※平成五年度末の全国の取水量に占める河川水の割合は、七〇%となっています。

## 今年度事業について

平成七年度については、広域水道企業団からの年間総配水量は七百八十五万八千八百七十立方メートル、一日平均配水量は二万一千四百七十二立方メートルになると見込まれています。

建設改良事業では、主なものとして、朝田浄水場の排水処理設備工事などが予定されています。

予算規模については、収益的収支では、収入が十三億七千三百五十九万二千円、支出が十三億五千九百四十九万九千円となっています。また、資本的収支では、収入が十一億七千三百八十八万八千円、支出が十四億三千七百四十六万七千円。収入が支出に対して不足する額二億六千三百六十五万九千円は、損益勘定留保資金などで補てんすることになっています。



## 見直そう 水の大切さ

安全でおいしい水は、より良い自然環境から生まれます。

今後、ますます増加が見込まれる水需要に対し、この安全でおいしい水を確保するためには、主な水源である樫野川の水がきれいではなくてはなりません。

私たちの樫野川をいつもきれいに保つように心がけましょう。

また、水は貴重な資源であると再認識し、大切に使うようにしましょう。



# 山口市の戦後50年

4

川端市場の歩み  
伊藤ヒナコ（76） 神田町

小学生の頃、宮野上方面からたかさんのお婆さん・お母さんたちが、籐表の押し車に浅い竹かごを重ねて、自家生産の野菜、果物、花、餅などを並べて山口の中心街へ売りに出かけられるのに出会い、また、学校の帰り時間には、丁度商いを終えて帰途の皆さんを見かけたものである。

やがて押し車はリヤカーに替わった。街では思い思いの場所を陣取ったり、訪問販売風に廻ったりして商いをしておられたようだ。

何時の頃からか、一の坂川の現在の西京橋袂付近から、米屋町側の川筋に屋台が並び、魚屋さん、乾物屋さんとその筋を通れば、何でも揃ったものである。反面、対岸の通りから屋台の裏側の眺めは美しいものではなかった。

湯田から早間田・堅小路方面に九号線が建設整備され、国体が開かれる頃になると街の美化問題が起り、「雑然とした屋台群を整備された建物の中に」との計画が出たが、当時は賛否両論喧々ごうごう大変なことだった。結局現在の西京橋の川端市場が誕生したのである。

スーパーがたくさん出現し

たいまでも、川端市場はお客さんとお店の人とのふれあいのある商売をしておられることと思えます。

私の思い出

藤村恒彦（70） 湯田温泉

私が会社勤めをやめ、家業の「そば屋」に復帰したのが昭和二十六年、当時の店の様子などを思い浮かべて記してみる。

その頃の日本は、ようやく食糧難の苦しみから抜け出したところで、そば屋に一番大切なそば粉もこの年に自由販売になった。

そば屋もゆでめん専門の委



第13回日専連全国大会歓迎の花バス

昭和30年代、全国大会や祇園祭・ちょうちんまつりなどには盛んに花バスが運行され、子どもたちも花バスがくるのをまって乗った。

託加工からもり・かけ、種ものを大っぴらで売れることになったのだが、まだまだ外食券が幅をきかした時期で、そば屋もお客さんから受け取った外食券を集めて貼り合わせ、それと引換えに業務用の米の配給を受け、親子丼や天丼を商いした。勿論、それだけでは知れており、お客様も券なしで御飯物を食べるので、ヤミ米の買入も盛んであった。そんなわけで、この年は外食堂の正規の看板を持った店と、ヤミの原料で賄っていたいわゆるヤミ屋とがあったのだが、私の店は、戦前からの「老舗の味」の復活と大いに歓迎してもらった。

当時、ヤミ米一升は二百円、三百円と高価なもので、そば職人の給料が一万二千円、一万五千円くらい、新米の出前持ちは二千円くらいだった。

私の店にも常時七・八人の雇人がいたが、「食べることでできる」というだけで住み込んだ青年も多く、異動証明があつて、配給が受けられる者とも無い者とは給料も違ったものである。

この頃、そば屋さんも全国的に増加してきたが、そばの汁も、原料がまだまだ不自由で、いま考えとずいぶん分まつていた。醤油には増量

藤村さんのお店は錦川沿い。「柳並木に温泉情緒がただよびました」



のために塩を加えて水を入れた。砂糖を減らすためにサツカリン、ズルチンを入れ、みりんも焼酎に砂糖を入れたもので間に合わせるといった具合、もちろん饅頭も気持ちだけ入れるようなもので煮干しなども使った。

でも小麦粉が統制でヤミ値が高く、そば粉の方が安かったこともあつて、そば粉を多く使った方が儲かるというようなことで、おそばはまあまあであつたように思う。

まだまだ思い出はつきないが、その頃の飲食店は大きな石をどかした跡に、一斉に雑草の芽が吹き出したような元気があつて、「これからやろう」「うまいものを売ろう」という意気込みがあつた。



昭和三十三年のホッピングにつづいて、三十三年はフラフープが大流行。一秒に二本売れたとまでいわれたが、ホッピング同様、体への影響が心配されて下火になった。三十五年にはダッコちゃんが大ブームとなった。



- 写真提供 田辺吉亮さん（中市） -

生活の為とはいえ私は姉が気の毒でなりませんが、頑張りやの姉は珠算を練習して、間もなく事務職に変わることが出来ました。

私は青年学校に二年通った後、県庁にアルバイトに出ました。ちょうど二十四年の衆議院議員選挙に向けて忙しく、私の仕事は、ほかのアルバイトの人と一緒に投票用紙に一枚ずつ県知事の印を押すことでした。県内の有権者全員分でしたから大変な数でした。

その後、県職員採用試験を受けて本採用になり、結婚退職まで五年間お世話になりました。

通勤はバスでしたが、宮野・県庁間は超満員で、朝のラッシュ時など、お客をぎゅうぎゅう詰め込んでドアが閉まらず、最後の人が両手を広げてステップに立って中のお客を支え、車掌さんはボンネットに座って行くという大変危険な、しかしおらかな風景でした。

母が近所の田を小作させて

頂いたので、私達も勤務の合間に農作業の手伝いをしました。また、山で切った木を大八車で製材所に運び、出来た柱に一本一本丁寧に辨柄をぬり、ようやく我が家が完成した時の喜びは今も忘れることが出来ません。

娘達を自分の家から嫁がせようと頑張った父のお陰で、私達姉妹四人は小さいながらも楽しい我が家からそれぞれ嫁入りすることが出来ました。周りの方々の暖かいお助けによって今日の幸せを頂くことが出来ましたことに感謝しております。

苦しい生活の中にも楽しい行事も多く、岡ノ原天神の秋祭りや婦人会や青年団が競演した素人演芸会、小学校の校庭で行われた盆踊り大会等、季節の折々に思い出し昔を偲んでおります。

短歌「あかね」の会

増野美智子（81） 折本

終戦後いち早く「あかね」という短歌の会が山口に誕生しました。指導者ほのちに山高の講師になられた清川妙さんでした。

あかねさす紫野ゆき標野（しめの）ゆき野もりは見すや君がそで振る

額田王の有名な相聞歌からも作ったものでした。会員は二

十名ぐらいでした。毎月一回歌会をしたり吟行したりしていました。

毎年四月二十九日は、平川の百村さん宅のれんげ田で歌会をしていました。あの頃は交通の便が悪く、仁保から自転車で歌友岡部さんと行きま

した。  
淋しくばあの星見よと言い  
おきし夫あまさずてオリオン愛し  
馬酔木咲くやますそ遠く回りきてひねもす吾は粗朶東ねある

感傷的なものですけれど物覚えの悪くなったわたしが今でも覚えています。

詩人の和田健さんも一時期出席してくださいました。ひとつの花の芯にあつまる花びらようだと評されました。宮野上の木梨郎の大きなしだれ桜の下にひもうせんを敷いて、歌会をしたこともすっかり覚

えています。

お正月歌会には料理を一品ずつ持ち寄りました。物資の少ない頃なのでそれぞれ工夫しました。わたしは砂に埋めた栗を掘り出して、小豆とまぜあわして炊いたご飯。母が作ってくれました。

終戦とともになにか吹き出すように、わたし達は万葉の研究に短歌に一途でした。

いつか秋吉台にムラサキを見に行くチャンスがありました。「あかねさす・・・」とつぶやきながら、草むらの中に楚々とした白い小花を賞でました。

この短歌のながれは連綿として続いています。「仁保短歌教室」です。「あかね」の頃からの者が何人か残っています。このたび合同歌集「樞火」第四集の発刊となりました。清川さんの播かれた種は今も息づいています。

五十年を振り返って

徳重栄子（63） 大内

昭和二十一年春、丸裸で外地から引き揚げてきた私達一家七人を、伯父は農家の納屋

を改造して暖かく迎え入れてくれました。

父は幸い近所の方のお世話で県庁に就職、四十二歳で慣れない製図引きに転職しました。十六歳の姉は、郵便局に給仕として働きに出ました。

が閉まらず、最後の人が両手を広げてステップに立って中のお客を支え、車掌さんはボンネットに座って行くという大変危険な、しかしおらかな風景でした。

母が近所の田を小作させて



百村さんのれんげ田で





(昭和34年9月までは「山口市民報」)  
にみる

# 山口市の戦後

(昭和31年～40年)

## 山口市の戦後の主な出来事 (昭和31年～40年)

### 昭和31年

- 2月・陸上自衛隊山口駐屯部隊開隊式挙行
- ・市議会で「地財再建法の適用」決定
- 4月・市立児童図書館開館
- 11月・鑄銭司村、山口市と合併

### 昭和32年

- 3月・定例市議会で都市計画税新設を可決
- 5月・30年豪雨の被害による常栄寺雪舟庭復元工事竣工
- 12月・市の忠魂碑を香山公園に移転落成

### 昭和33年

- 1月・新春鳳凰山登山を初めて実施
- 3月・市公会堂解体、中央公民館・児童図書館を大殿大路に移転
- ・市営4階建て清水アパート竣工
- 5月・第13回日専連全国大会が市内で開催
- 10月・山口線小郡・宮野間通学列車上山口駅停車開始

### 昭和34年

- 4月・国道2号線鑄銭司・陶間改良工事完成
- 5月・市内初の白石地区老人クラブ結成
- ・長井市長のリコール成立、辞表提出
- 7月・市長に兼行恵雄氏当選
- 8月・大殿小学校天花畑分校廃校
- 10月・国民健康保険の市民皆保険を実施
- 11月・文化財保護委員会が大内氏遺跡として館跡、築山跡、高嶺城跡、凌雲寺跡を史跡に指定

### 昭和35年

- 3月・山口線にディーゼルカー配置
- 4月・湯田温泉まつりに白狐踊りを加える
- 5月・美東・秋芳両町と山口市で「観光総合開発協議会」発足さす
- 8月・清水に県立体育館完成
- 10月・山口開府六百年祭開催
- 12月・第18回国体の山口県開催決定

### 昭和36年

- 1月・平川地区の有線放送施設完成
- 2月・国体主会場が山口市に決定
- 4月・市役所前に交通信号機設置
- 5月・9号国道木戸山トンネル完工
- 9月・市営新と畜場完成
- 11月・市子ども会育成連絡協議会結成
- 12月・「山口市建設総合計画」樹立



たびたび氾らんした湯田温泉の錦川は昭和45年晴きよにされた

—写真提供 藤村恒彦さん(湯田温泉)—

### ・財政再建の見通しつく

山口市では、市役所・白石小学校などの相次ぐ火災、六・三制実施に伴う中学校の建設、台風・水害による被害などで、財政が極度にひっ迫しており、市議会でも連日のように赤字財政に論議が集中、三十年四月「財政再建特別審議会」を設置した。三十一年二月、臨時市議会で、国の「地方財政再建促進特別措置法」の適用を受けることを決定、山口市は財政再建整備団体となり、二億四千五百万円（赤字総額分）の再建債の借入れ、人件費・物件費の節約、投資的事業費の計画的な執行など財政再建七か年計画を確定した。（三十一年五月号）

### ・湯田地区に スマートな公衆電話

湯田国道筋の山口電気通信部の前に公衆電話ボックスがお目見得、これで市内の電話

ボックスが四か所になりました。（三十一年六月号）

### ・一の坂川に河鹿を放流

山口に名物がまたふえました。一の坂川の河鹿たちで、夕闇迫る清流のせせらぎに快い旋律を伴った鳴き声が道行く人たちの耳を楽しませております。

河鹿は、佐波郡柚野中学校に依頼して、佐波川上流に繁殖する河鹿を生徒にとつてもらい、六月中旬約八百匹を二回に分けて放流しました。

・はりつめて  
（三十三年六月号）

### ・昼も夜も 火事に備える人々

秋季火災予防週間に消防署を訪ねてみました。

〈通信勤務〉消防署と電話局の間は特別の直通線につながっている。いざという時、市民の方は消防署の電話番号など言っている必要はない。「火事！」と言ってもらえばすぐ通じる。勤務者全員が一時間おきに通信機に取り組んでいる。

〈出勤〉望楼から火事の連絡。署内は一瞬殺気立ち、出動命令からとびだすまで二十秒。〈望楼の見張り〉夜中の二時半、望楼当直時間だ。寒暖計は四度。冬は零下六・七度ぐらいに下がる。

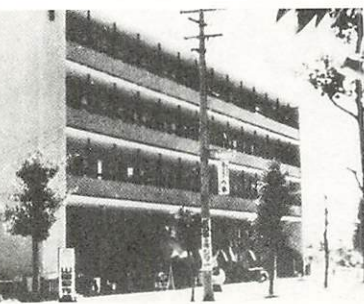
・ネズミでテレビ  
（三十五年十二月号）  
一月末まで一斉にネズミ退



旧市役所前の信号機



山口開府六百年記念祝賀行事



清水に完成した四階建て  
店舗付市営住宅

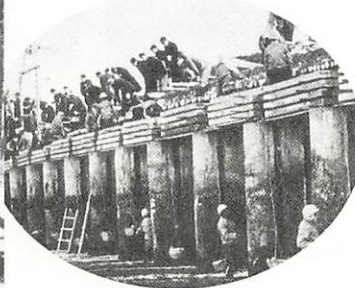


提供者表記以外のこの写真は、「写真で見る山口市60年のあゆみ」から



◀国道9号大改修工事  
中河原の公設・川端市場付近

▶道場前商店街にアーケード  
大内町との合併後、その名も  
「10万人の散歩道」  
—写真提供 田辺吉亮さん—



幸崎干拓潮止め工事

治運動中。期間中、テレビや冷蔵庫が当たるネズミクジがあります。ネズミと引換えに衛生課・出張所でもらってくださいます。(三十五年十二月号)  
・山をくすす  
国体主会場の整地作業は、陸上自衛隊の到着で、ダンブ・ブル・シヤベルなどが目をみはるような活躍を始めた。熊本の第四管区第五施設隊と山口駐とん部隊が合流、朝田

の山土を切り取って主会場まで運搬・整地を開始したもので。(三十六年十月号)  
・あなたの血液型は  
医学の進歩で血液の需要がふえ、最近では交通事故も多く保存血液だけでは足りないありさまで。血液知識普及展と血液型無料判定を行います。(三十七年二月号)  
・山口時間  
デートにや不思議におくれんちや・さすがにノ  
身体に気をつけてネ  
ウンお母さんもよ  
本年度最後の集団就職列車が市内の中学卒業生三十二名を乗せ三月二十七日小郡駅を発った。  
発車のベルが鳴る。ハンカチを顔に当てた母親がテープを持った手を差し出すと、これをしっかりと握る子。母も子もともに涙でみつめあったま、列車は静かにすべり出し、

東の彼方に消えていった。(三十七年四月号)  
・黄色のランドセルには  
オールストップ  
春の交通安全運動旬間を機に今年の新入学児童全部に黄色いビニールカバーがおくられます。また、市内の幼稚園児全部の右胸に黄色いリボンを着けます。リボンには「右側を歩きましょう」と書いてあります。リボンのついた側が右側ですよというわけです。(三十七年五月号)  
・いとこ意やかまほこ  
国体料理の試作会が行われました。一日三食二百五十円で四千カロリー以上の栄養が必要とあって、湯田一流の調理師さんもなかなか苦心。(三十八年二月号)  
・五重塔池に映る  
五重塔は観光山口のシンボル。この度付近一帯が公園化されました。植樹や芝生を植えた庭園、そして塔の前には

池が掘られ、これからの来遊客は池に映る塔影に風情を親しむことでしょう。(三十八年六月号)  
・京都に通ずる九号国道  
十月三日、九号国道の市内開通式が盛大に行われました。兼行市長も「西の都西京橋からこの道は京都の五条大橋に通ず」と大感激でした。(三十八年十月号)  
・五輪学級はじまる  
東京オリンピックを機会に国際理解を深めようと、日本ユネスコ国内委員会が全国二十七か所を指定してつくった「五輪学級」。県下では大庭地区婦人会が選ばれ、オリンピックの歴史、国際情勢、エチケットなど幅広い学習をします。会員も「狭い家庭に閉じこもらず、目を大きく海外へ」と大張り切りです。(三十九年六月号)  
・はたちの座談会  
愛国心について・日本は

アジアの先進国としての自覚をもって平和を基盤とした共存共栄への努力をすることが必要。戦後二十年がたつて日本は安定してきたが、どこまでも戦争を否定し、自信過剰にならないようにしなくてはいい。(四十年二月号)  
・中原中也の詩碑できる  
小柄な中原フクさん(85)が高田公園の碑の前に立ち、感激にふるえる手で静かに紐を引くと、黒御影の詩碑が、梅雨空の曇間から出た六月の太陽を浴びて光った。  
詩碑建設委員会は兼行市長を委員長に水野商工会議所会頭ら市内有志五十余名、これに中也在京中の友人大岡昇平、小林秀雄、河上徹太郎、今日出海氏らの文壇人、防長クラブの有志が加わって昨年十一月に発足し、募金も百二十万円に達していた。  
碑の設計監督は石彫家の志水晴児氏。(四十年六月号)

昭和37年

- 3月・中河原に五階建て市営アパート完成
- 4月・下清水にNHK山口放送会館完成、放送開始
- 6月・富田原にし尿処理場完成
- 9月・「山口市の歌」(佐藤春夫作詞・信時潔作曲)を市議会で発表

昭和38年

- 1月・二島幸崎干拓潮止め工事行
- 3月・山口森林組合発足
- ・湯田熊野に山口電報電話局新築完成
- 4月・西京橋竣工(橋の名は公募で決定)
- ・国体「カンナの道」へと9号をはじめ2号・262号国道にカンナの植栽
- 5月・大内町と合併、10万都市の仲間入り
- ・山口市消防団発足
- ・山口国体主会場・県陸上競技場完成
- 7月・市児童文化センター開館
- ・藩庁山口移鎮・七卿百年祭挙行
- ・道場前アーケード完成
- 8月・山口電報電話局管内の電話自動化
- 10月・9号国道市街地貫通
- ・山口・防府間国道改修完成
- ・米屋町アーケード完成
- ・瑠璃光寺五重塔の夜間照明完成
- ・第18回山口国体秋季大会開会、11月1日閉会
- 12月・全国身障者体育大会を山口で開催

昭和39年

- 2月・宮野の山口フキを初出荷
- ・川の流域の町内会が連合して「一の坂川をきれいにする会」を結成
- 3月・川東有線放送電話が本放送開始
- 6月・山口市地域防災計画できあがる
- 8月・鑄銭司ブドウを初出荷
- ・第1回市民体育大会開催
- ・附属小学校が全国NHK音楽コンクール合唱の部で全国1位に
- 9月・第8回全国軟式野球大会、山口で開催
- 10月・山陽本線全線電化完成
- 12月・二島みかんを初出荷

昭和40年

- 2月・香山公園に満月の庭完成
- 3月・富田原に塵芥焼却場完成
- 6月・湯田地区の新住居表示実施
- ・湯田高田公園に中原中也の詩碑建立
- 11月・山口築山神社境内に「箏曲組歌発祥之地」の石碑建立



# 日の本商事と新和パルタック 2社が鑄銭司団地に進出 山口市と協定調印



日の本商事株式会社と新和パルタック株式会社が、山口市の鑄銭司団地に進出する。この進出は、山口市と両社が協定調印した結果である。協定内容は、M-III区画(約三千六百八十二平方メートル)、新和パルタックがM-IV区画(約三千百十六平方メートル)を取得、二社が鉄骨二階建て、建築面積延べ三千三百平方メートルの建物を造り、設備などを共有します。両社は同じような商品を取り扱うライバル会社でありながら、重複投資を避けようとするもので、業界内でも珍しいケース。今年十一月から着工、来年三月完成し、操業開始の予定。日の本商事株式会社山口支店は日用品、家庭用品、化粧品、卸売りを主な業務とし、従業員は、当初十五人、最終三十人、年間総売上上げ額約十五億四千万円を見込んでいます。

鑄銭司団地に日の本商事株式会社(本社・尾道市、廣川英一社長)と株式会社新和パルタック(本社・広島市、吉田智在社長)が進出することになり、七月四日、山口市から佐内市長、日の本商事株式会社から廣川社長、株式会社新和パルタックから吉田社長らが出席、県の立会いのもと進出協定の調印式がありました。

日の本商事が同団地南工区を、鑄銭司団地北工区は、化粧品、日用雑貨の卸売りを主な業務とし、従業員

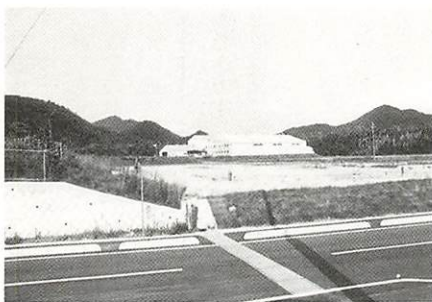
当初十五人、最終二十五人、年間総売り上げ額約二十億円を見込んでいます。

投資額は、日の本商事が約三億二千二百万円、新和パルタックが約三億二千二百万円。

鑄銭司団地は、山陽自動車道山口南インターのすぐそばにあり、交通の利便にも恵まれています。

同団地(南工区)には、昨年、国広倉庫が進出、これに進出企業は三社になりました。

隣接している北工区(二、三、四、五区画)も既に造成が終わり、八月末から分譲を開始する予定です。



鑄銭司団地

## 雇用保険の新制度がスタートしました

### 高年齢雇用継続給付

60歳以上65歳未満の被保険者(被保険者期間5年以上)の方が60歳時点の賃金に比べて85%未満の賃金で雇用を継続されている場合に支給されます。

失業給付を受給しない  
で雇用を継続する者



高年齢雇用継続  
基本給付金

(支給内容)  
60歳時に対する賃金額が、  
・64%未満……支給対象月の賃金の25%相当額  
・64%以上85%未満……支給対象月の賃金に25%から労働省令で定める一定の割合で減額する率を乗じた額。  
ただし、給付額と賃金額の合計額の上限は、36万1,680円  
支給期間は65歳まで(最高5年間)

失業給付を受給した後  
再就職した者



高年齢再就職給  
付金

(支給内容)  
60歳時に対する賃金額が、  
・64%未満……支給対象月の賃金の25%相当額  
・64%以上85%未満……支給対象月の賃金に25%から労働省令で定める一定の割合で減額する率を乗じた額  
ただし、給付額と賃金額の合計額の上限は、36万1,680円  
支給期間は基本手当の支給残日数に応じ1年間または2年間

### 育児休業給付

1歳未満の子を養育するために育児休業を取得した被保険者(休業前2年間に原則12か月以上就労している)であって、休業前の賃金に比べて80%未満となった場合に支給されます。

育児休業中

育児休業基本  
給付金



職場復帰後

育児休業者職場  
復帰給付金

(支給内容)  
育児休業開始前賃金の20%相当額  
ただし、休業期間中に事業主から賃金が支払われた場合には、休業開始前賃金に対する賃金額が、  
・60%以下……休業前20%相当額を支給  
・60%以上80%未満……賃金額と育児休業基本給付金の合計額が休業前賃金の80%相当額に達するまで  
・80%以上……支給されない

(支給内容)  
育児休業開始前賃金の5%相当額に支給単位期間の数を乗じた額を一括支給

※雇用保険の新制度についての詳しいことは、山口公共職業安定所(ハローワーク山口)(神田町1-75 ☎22-0043)へおたずねください。



# 山口七夕ちようちんまつり

夜を染める十萬個の紅ちようちん。  
大内氏に由来する山口の風物詩。  
ろうそくの灯るひととき、  
激情的たかに激舞の夏がゆきます。

パークロード(駅通り)を練り歩きます。

時間 午後八時～九時  
ちようちん山笠

パークロードを三基の山笠が巡行します。

時間 午後八時～九時  
子供みこしパレード

子供会の皆さんが、商店街、パークロードでおみこしを担ぎます。

時間 午後六時五十分～七時四十五分  
TYSお祭り広場

セニョール小林の「クイズの王様」など

時間 午後六時三十分～九時  
場所 亀山公園

と姫みこし一基をかつぎ、パークロード(駅通り)を練り歩きます。

## 市営バス 臨時便の運行

8月6日・7日、次のとおり臨時便を運行します。

●湯田温泉から中国電力前まで午後7時から8時まで適時増発

●センタービル前から湯田温泉まで午後8時30分から9時30分まで適時増発

●児童センター前発午後7時27分の稲葉団地入口・白石経由センタービル前行

●中国電力前発午後9時30分の白石・稲葉団地入口経由児童センター前行

○リハビリ病院前発午後7時20分の山口行

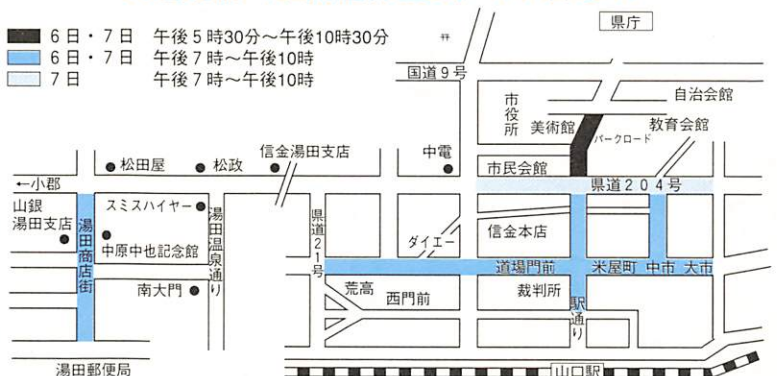
○センタービル前発午後9時30分の平川行

○宮野温泉発午後7時30分の競技場行

○中国電力前発午後9時30分の白石・県庁前・日赤経由宮野温泉行

## 交通規制(車両通行止め)のお知らせ

■ 6日・7日 午後5時30分～午後10時30分  
■ 6日・7日 午後7時～午後10時  
■ 7日 午後7時～午後10時



## はじめまして ミス山口です

新しく観光のお手伝いをしてくれるミス山口の5人に、趣味や抱負などをうかがいました。お披露目は、七夕ちようちんまつりの6日。KRYお祭り広場で表彰された後、パレードを行います。

大坂昌美さん (21) オリジナルプリントSTEP-1



植物が好きで、今、朝顔を育てています。特技はデザイン。少しでもお役にたてるように芸術や文化の香り高い山口を見つめなおして、がんばります。

福田砂都美さん (23) 三洋信販

お料理が好きです。山口市は史跡も多く、古いものも新しいものもあります。たくさんの人たちにこのまちを知っていただきたいですね。



徳留亜紀さん (20) 山口市役所



趣味は、ハーブなどを植えて庭をつくることです。市内では、四季の花のあるパークロードがいいですね。たくさん勉強して市のイメージアップに努めます。

西村由紀さん (23) マツダ(株) 防府工場

中国、九州、四国の全県をドライブしました。山口はゆったりして心が休まります。特に一の坂川など、山口のいいところを皆さんにわかっていただければと思います。



桑原京子さん (23) (株) ホンダベルノ山口



手話や点字など興味をもったことにチャレンジしています。歴史的な遺産や人物などの紹介をおし、すべての方に山口をアピールしていきたいと思っています。

8月6日(日)  
KRYお祭り広場  
ビンゴ&クイズなど  
時間 午後六時三十分～九時  
場所 亀山公園  
YAB舞楽祭  
和太鼓三人打ち 谷崎清次  
郎と木立の会など

8月7日(月)  
大内ちようちんみこし  
約三百人が、殿みこし二基と姫みこし一基をかつぎ、パークロード(駅通り)を練り歩きます。

時間 午後六時三十分～九時  
場所 市役所前庭  
ミス山口パレード  
時間 午後八時～九時  
TYSお祭り広場  
セニョール小林の「クイズの王様」など  
時間 午後六時三十分～九時  
場所 亀山公園

8月6日・7日、次のとおり臨時便を運行します。  
●湯田温泉から中国電力前まで午後7時から8時まで適時増発  
●センタービル前から湯田温泉まで午後8時30分から9時30分まで適時増発  
●児童センター前発午後7時27分の稲葉団地入口・白石経由センタービル前行  
●中国電力前発午後9時30分の白石・稲葉団地入口経由児童センター前行  
○リハビリ病院前発午後7時20分の山口行  
○センタービル前発午後9時30分の平川行  
○宮野温泉発午後7時30分の競技場行  
○中国電力前発午後9時30分の白石・県庁前・日赤経由宮野温泉行



★★★夏休み星空教室★★★



★対象 各会場とも、小学校高学年(50人)およびその保護者

《佐山会場》

- 日時 8月8日(火)午後7時～9時
- 場所 佐山小学校グラウンド
- 申し込み 佐山公民館(☎89-3525)へ

《仁保会場》

- 日時 8月10日(木)午後7時～9時
  - 場所 仁保小学校グラウンド
  - 申し込み 仁保公民館(☎29-0105)へ
- ※各会場とも、雨天の場合は体育館で行います

目で見る県政教室

- 期日 9月20日(水)
- 日程 県政資料館前集合(午前8時35分)～マツダ(株)防府工場見学～山口県セミナーパーク見学～解散(午後4時5分)
- 参加資格 山口市、防府市などに居住する満18歳以上の方
- 募集人員 80人(応募者多数の場合は抽選)
- 参加料 1,000円(昼食代を含む)
- 申し込み はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号・「目で見る県政教室」の過去の参加回数を必ず記入し、8月18日(必着)までに県広報課「目で見る県政教室」(滝町1-1)へ

親子で竹細工に親しむ会

- 日時 8月25日(金)午前10時～正午
- 場所 市児童文化センター(湯田温泉五丁目2-13)
- 対象 小学生とその保護者
- 定員 20組(先着順)
- 講師 永見浩三先生
- 材料費 100円
- 持参品 切り出し小刀、筆記用具、古タオル1枚
- 申し込み 8月11日(金)からの日曜・月曜を除く午前9時から午後5時の間に、市児童文化センター(☎22-4285)へ

山口大学公開講座「高齢化社会の家族と福祉」

- 日時 9月9日(土)～12月2日(土)までの隔週土曜日(全7回)、午後2時～4時
- 場所 山口大学学生会館
- 定員 50人(先着順)
- 費用 5,700円
- 申し込み 8月9日～23日の間に、はがきに公開講座「高齢化社会の家族と福祉」受講希望と明記し、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入して、山口大学教養部庶務係(大字吉田1677-1)へ

「ヒューマンスクールⅦーゆたかさー」

- 日時 9月16日(土)～12月9日(土)までの隔週土曜日(全7回)、午後1時30分～3時30分
- 場所 山口大学学生会館
- 定員 60人(先着順)
- 費用 5,700円
- 申し込み 8月16日～30日までの間に、はがきに公開講座「ヒューマンスクールⅦ」受講希望と明記し、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入して、山口大学教養部庶務係(大字吉田1677-1)へ

維新公園スポーツ教室《弓道教室》

- 期日 8月21日～10月9日までの毎週月・金曜日(全15回)
- 時間 昼の部:午後1時～3時  
夜の部:午後6時～8時
- 場所 山口県弓道場(維新公園内)
- 対象 高校生以上(弓道部員を除く)
- 募集人員 各部30人(先着順)
- 受講料 2,000円
- 申し込み 8月15日までに、(財)山口県公園協会指導課「スポーツ教室」係(吉敷3995-1☎22-2754)へ

《アーチェリー》

- 日時 9月4・8・11・14・18・22・25・29日・10月2・6日、午後6時～8時
  - 場所 山口県弓道場(維新公園内)
  - 募集人員 30人
  - 受講料 2,000円
  - 申し込み 電話で、(財)山口県公園協会指導課「スポーツ教室」係(吉敷3995-1☎22-2754)へ
- ※運動靴と、体にフィットした運動服を用意してください

押し花を体験発表してみませんか?

- 日時 8月10日(木)午前10時から(以降の開催日などは10日にお知らせします)
  - 場所 平川公民館
  - 募集人員 20人(先着順)
  - 材料費 1,600円
  - 講師 入江幸江先生、上田貞子先生、宮原延恵先生、中村裕美子先生
  - 申し込み 8月9日までに、大殿公民館(☎24-5592)または平川公民館(☎22-4235)へ
- ※出来上がった作品は、10月14日(土)の生涯学習推進大会で発表します

戦没者の遺族の皆様へ  
特別弔慰金が支給されます

戦没者等の遺族のみならず、戦没者に対する特別弔慰金が支給されます。対象となるのは、平成7年4月1日現在、同一の戦没者について、公務扶助料や遺族年金などの支給を受ける方がいない遺族です。次に挙げる遺族のうち、その順序に従って最も順位が先の方お一人に、額面40万円の国債が支給され、平成8年から17年までの10年間にわたって、年間4万円ずつ償還されます。なお、同順位の方が複数いるときは、お一人を選定して請求していただきます。

- ①第4回・第5回弔慰金(遺族国庫債券)の受給者
  - ②戦没者の子
  - ③父母、孫、祖父母、兄弟姉妹のうち、戦没者の死亡当時生計を共にしていた方
  - ④父母、孫、祖父母、兄弟姉妹のうち、戦没者と生計関係がなかった方および③で除かれている氏が変わった方
  - ⑤兄弟姉妹の配偶者、甥、姪
- おじ、おば、およびこれらの配偶者など、三親等内親族のうち、戦没者の死亡まで引き続き1年以上生計を共にしていた方
- ◆詳しくは、市役所社会課(☎22-4111)または県高齢福祉課保護室(☎33-12800)へ

高齢福祉年金をもらって  
おられる皆さんへ

今年の老齢福祉年金の支払いは8月11日(金)からです。証書と印鑑をお持ちになって、指定の郵便局で年金を受け取ってください。

- 受け取られた後、市役所保険年金課またはお近くの出張所へ必ず証書を提出してください(この時も印鑑が必要)
- 提出期間 8月11日(金)～31日(木)
- 提出場所 市役所保険年金課(☎22-4111) または各出張所へ



# 催し物とお知らせ

## お盆のごみ・し尿収集

次の日は、ごみ・し尿収集が休みとなります。ただし、大内清掃工場(可燃物)は平常通り業務を行います。

★ごみ収集 8月14日(月)、15日(火)この日の収集地区は、次回の収集となります。

★神田不燃物処分場 8月14日(月)、15日(火)

## ★し尿収集

◇山口公衆衛生協会(☎22-1746) 担当地区 8月14日(月)15日(火)16日(水)

◇富士企業(☎25-7654) 担当地区 8月14日(月)、15日(火)、16日(水)

## Uターン就職面接会

○日時 8月13日(日)午後1時～4時(12時30分から受け付け)

○場所 山口グランドホテル(小郡駅新幹線口前)

○参加企業 約60社(予定)

○問い合わせ 山口県商工労働部職業安定課雇用対策係(☎33-3254)へ

※参加者は、当日履歴書を持参してください

## 応援します 高齢者の再就職

高齢者のための就職相談窓口として、山口ふるさと伝承総合センターに「高齢者職業相談室」が設置されているのをご存じですか?

55歳以上の方を対象に、適職の斡旋を行っています。求人希望される事業所の方も受け付けています。

○問い合わせ 高齢者職業相談室(下堅小路12/山口ふるさと伝承総合センター内☎23-6880)へ

## 大林宣彦 「シネマコレクション」

○日時 8月30日(水)午後12時30分～5時15分

○場所 市民会館大ホール

○内容 「青春デンデケデケデケ」「北京的西瓜」

○料金 一般800円、大学生以下500円(今年度の市民大学講座の聴講券をお持ちの方は、特別観覧として500円になります)

○チケット販売所 市役所受付、市教育委員会文化課、C・S赤れんが、各公民館、市民会館、山口南総合センター、サンフレッシュ山口、山口ふるさと伝承総合センター、山口ふれあい館

○問い合わせ 市教育委員会文化課(☎20-4111)へ

## 県立博物館企画展「くじら」

○開催期間 8月3日(木)～27日(日)

○入館時間 午前9時～午後4時

○場所 山口県立山口博物館(春日町8-2)

○内容 ほ乳類としての鯨の姿、捕鯨の歴史、鯨にまつわる民俗行事について

○料金 大人610円、高校・大学生410円、小・中学生200円

※毎週月曜日は休館日となっています(ただし8月14日は除く)

## シルバー人材センター 入会説明会について

8月の入会説明会は、実施予定日の第3火曜日がお盆にあたりますので、中止させていただきます。

入会手続きは、随時事務局で行っていますので、お問い合わせください。

○問い合わせ (社)山口市シルバー人材センター事務局(下堅小路103-3☎24-5396)へ

## 終戦当時の引揚者の方々へ

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

■終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券など

■外地の集結地において、総領事館などに預けられた証券などのうち、日本に送り返されたもの

○問い合わせ 門司税関監視部特別監視官(北九州市門司西海岸1丁目3-10☎093-332-8346)へ

※返還の申し出は、ご本人だけでなく、ご家族の方でも結構です

※門司税関では、門司・博多・仙崎の各港で上陸されたものを保管し、お返ししています

## 募集コーナー

### 山口女子大学校舎公開講座 ～新しい時代に生きる～

○日時 9月9日(土)～11月11日(土)までの5回(毎回土曜日)、午後1時30分～3時30分

○会場 山口ふるさと伝承総合センター研修室(下堅小路12)、山口県婦人教育文化会館第4研修室(湯田温泉五丁目1-1)

○内容 「学ぶこと、生きること」「変わる家族、変わる女性の生き方ー女性学の視点からー」「夫婦でトーク アメリカの暮らし」「今、働く女性は」「男女共同参画型社会づくり」

○受講料 2,000円(資料代を含む)

○定員 70人(先着順)

○申し込み 8月18日(金)までに、山口女子大学同窓会校舎会事務局(桜島三丁目2-1☎25-7485)へ

※電話は、水・金曜日の午前10時～午後4時の間、FAX(電話番号と同じ)は常時受け付けています

## おし花をつかて

(おへやをかぞく)

○日時 8月25日(金)午前10時30分～正午

○場所 市児童館2階講座室(下堅小路254)

○対象 小学1年生～3年生

○会費 300円

○定員 30人(先着順)

○持参品 はさみ、ピンセット、ボンド(白い液)

○申し込み 8月3日～4日の間に、市児童館(☎281-8656)へ

## スライムづくり

○日時 8月9日(水)午前10時30分～正午

○場所 市児童館2階講座室(下堅小路254)

○対象 小学1年生～3年生

○会費 200円

○定員 30人(先着順)

○申し込み 8月3日～4日の間に、市児童館(☎281-8656)へ

## 戦没者追悼にご協力を

終戦記念日の8月15日(火)正午に、サイレンを鳴らします。

第2次世界大戦の戦没者の追悼のため、1分間の黙とうにご協力ください。

## 編集後記

いよいよ夏本番となりました。夏に関わりの深い「水」と「川」をテーマにとりあげてみました。

▼昨夏は異常気象に見まわれ、北九州や四国の都市では、水道の断水や減水が行われました。市内の農村部においても、干害応急対策が行われ、水の大切さを改めて知ることができました。幸いにして、本市は、長期水道計画に基づいて、安全でおいしい水が保たれています。これからも自然や生活環境保護につとめ、水源の確保に努めたいものです。



# 健康コーナー

## 1歳6か月児の健康診査

- 期日・対象地区 **8月24日(木)** 湯田、吉敷、平川、大歳 **8月25日(金)** 大殿、白石、仁保、小鯖、大内、宮野
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 対象 平成6年2月生まれの幼児
- 料金 無料(受診者は母子健康手帳と事前に送付した健診票をご持参ください)
- 問い合わせ 市健康増進課(☎21-2666)へ

## 3歳児の健康診査

- 期日・対象地区 **8月23日(水)** 湯田、吉敷、平川、大歳 **8月30日(水)** 大殿、白石、仁保、小鯖、大内、宮野
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 平成4年8月生まれの幼児と過去未受診者
- 料金 無料(受診者は母子健康手帳と事前に送付した健診票をご持参ください)
- 問い合わせ 市健康増進課(☎21-2666)へ
- ※当日検尿がありますので、取りにくい方は取ってきてください。

## 子宮がん集団検診

8月22日(火)	午後1時30分～2時	吉敷公民館
8月22日(火)	午後3時～3時30分	市保健センター
8月23日(水)	午後1時30分～2時	大歳公民館
8月23日(水)	午後3時～3時30分	平川公民館
8月24日(木)	午後1時30分～2時	小鯖公民館
8月24日(木)	午後3時～3時30分	大内公民館
8月25日(金)	午後1時30分～2時	仁保公民館
8月25日(金)	午後3時～3時30分	宮野公民館

- 対象 30歳以上の市民
- 料金 600円
- ※70歳以上の方、生活保護、市民税非課税世帯(すべての世帯員が、市民税を課税されていない場合)の方は無料
- 申し込み 市健康増進課(☎21-2666)へ

## 山口地区 痴呆性老人を支える家族の会

- 日時 8月8日(火)午後1時30分～3時30分
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 痴呆性老人を介護している方など
- 申し込み 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ(予約制)

## パーキンソン病患者 家族交流会(翠陽会)

- 日時 8月9日(水)午前9時30分～正午
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 パーキンソン病患者およびその家族
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ(予約制)

## 難病講演会

- 日時 8月28日(月)午後1時30分～4時
- 場所 山口環境保健所2階講堂(葵二丁目5-69)
- 対象 特発性血小板減少性紫斑病と再生不良性貧血の患者およびその家族
- 演題 「特発性血小板減少性紫斑病と再生不良性貧血の療養生活について」
- 講師 山口大学医学部付属病院第3内科 東野洋一先生
- 申し込み 8月22日(火)までに山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ
- ※個別相談を希望の方は、事前にご連絡ください

## 難病相談会

- 日時 8月9日(水)午後1時30分～4時、平成8年2月14日(水)午後1時～4時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象者 難病患者およびその家族ならびに希望者
- 内容 医師、福祉職員、栄養士、保健婦による生活療養職員
- 申し込み 事前に、山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ

## 子育てサークル会員募集

- 日時 9月7日(木)・10月5日(木)・11月2日(木)・12月7日(木)、午後1時30分～3時30分
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 内容 育児に関する話、レクリエーションなど
- 対象 1歳未満の乳児とその母親
- 料金 無料
- 募集人員 25組(先着順)
- 申し込み 8月7日～14日の間に、電話で山口市母子保健推進協議会事務局(市保健センター内☎21-2666)へ

## 高齢者料理教室

- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 時間 午前9時30分～午後1時
- 対象者 65歳以上の男女で、2回とも出席可能な方
- 募集人員 30人(先着順)
- 料金 600円
- 申し込み 8月20日までに、山口市食生活改善推進協議会事務局(市保健センター内☎21-2666)へ

回	月 日	内 容
1	9月4日(月)	うす味でおいしく食べよう 調理実習 みそ汁の塩分測定
2	10月23日(月)	バランスよく食べよう 調理実習

## 催し物とお知らせ

### 気になりませんか? 家族の安否

- 警察では、行方不明となっている人や、身元が分からず無縁仏となっている人を確認するため「行方不明者を捜す相談所」を開設します。
- 期間 8月1日(火)～31日(木)
- 場所 山口県警察本部鑑識課(☎25-5111内線2616)、山口警察署(☎24-0110内線236)、小郡警察署(☎08397-2-0110内線236)、その他県下各警察署
- 料金 無料
- ※秘密は堅く守ります。ご遠慮なくご相談ください

8月の休日当番医	外科系		内科系		外科系		内科系			
	診療時間	担当医	診療時間	担当医	診療時間	担当医	診療時間	担当医	診療時間	担当医
6	13時～18時	青木 隆	13時～18時	山本 隆	13時～18時	相川 隆	13時～18時	山岸 隆	13時～18時	同仁病院
13	13時～18時	鴻城 隆	13時～18時	田中 隆	13時～18時	村田 隆	13時～18時	田辺 隆	13時～18時	同仁病院
15	13時～18時	小田 隆	13時～18時	赤川 隆	13時～18時	山口 隆	13時～18時	小野 隆	13時～18時	秋穂2353
20	13時～18時	坂本 隆	13時～18時	藤原 隆	13時～18時	小川 隆	13時～18時	はまもと小児クリニック	13時～18時	小野 隆
27	13時～18時	山口 隆	13時～18時	香川 隆	13時～18時	小林 隆	13時～18時	河端 隆	13時～18時	同仁病院

吉南医師会 土曜夜間在宅当番医 診療時間19時～22時	8月5日		8月12日		8月19日		8月26日	
	内科系	共立病院	内科系	上郷医院	内科系	山岸内科	内科系	はまもと小児クリニック
	宇部65-2200	宇部65-2200	宇部65-2200	山口86-2177	宇部65-2200	宇部65-2200	宇部65-2200	小郡3-0616
	秋穂2330	秋穂2330	秋穂2330	相川医院	秋穂2330	秋穂2330	秋穂2330	小郡2-2513

■市外局番 山口：0839 小郡：08397 宇部：0836 秋穂：083984